

UFO と旅する本 (付記-1:注目の動向)

- ▶ 有史以前から宇宙人の地球来訪は行われている。
- ▶ 20世紀では、1952年11月20日、アメリカの砂漠でジョージ・アダムスキーが空飛ぶ円盤から降りてきた「金星人・オーソン」と会見。地球の歴史にとって大きなターニングポイントとなった。
- ▶ 宇宙人はアダムスキーに、この太陽系には12の惑星があり、全ての惑星に地球人と同じような人が住んでいると伝えた。その中で地球は一番進化が遅れており、未だ戦争があり特に原爆の使用は他の惑星にも影響を与えるので中止することや、地球人の精神性の向上等について警告をされた。
- ▶ 1950年代には、世界中で宇宙人と会見したという人が多くいた。政府関係では1957年、金星人ヴァリアント・ソーがアイゼンハワー大統領と会見、国防総省で3年間、平和的な地球文明の進化を援助するのために働いたという。
- ▶ ケネディ大統領(1963年に暗殺)が推奨した月面有人着陸と帰還、1969年アポロ11号が人類初の月面着陸成功、月面で宇宙飛行士たちは宇宙船(暗号:サンタクロース)と出会ったともいう。アポロ計画は20号まで予定されていたが、1972年、6回の有人月着陸(17号)で終了した。(13号は失敗)

- 同時期から、世界的な UFO・宇宙人に関する**隠蔽工作、偽旗作戦、情報操作等**が始まり、現在も続いている。(地球文明を支配している秘密結社イルミナティ、国際金融資本、ディープステイト、サイレンスグループとかと呼ばれる闇の勢力の暗躍)
- 2001年5月、アメリカでグリア博士たちによる「UFO ディスクロージャー(情報開示)」記者会見が行われた。以後、アメリカ議会では度々、公聴会が開かれ、UFO の秘蔵映像や軍関係者の証言が公開されはじめた。
- 2007年9月、日本の月周回衛星「かぐや」が打ち上げられ、高度約 100 km 上空から月の全球を調査(～2009年6月まで)。いくつかの月面動画が公開されているが、アナクサゴラスクレーターには移動する UFO が映り込んでいる。
- 日本ではようやく 2024 年(令和 6 年)6 月 6 日、「安全保障から考える未確認異常現象(UAP)解明議員連盟」が発足された。
- 国際協力(日本含む)で進められている、アポロ以来の有人月面着陸「アルテミス計画」は、度々予定が延期され、2027 年半ばに着陸予定とされている。

(2025.9 記)